

J.LEAGUE NEWS

Official News Letter

vol. **103**

12.Apr.2004



編集・発行
社団法人日本プロサッカーリーグ

〒113-0033
東京都文京区本郷3丁目10番15号
JFAハウス9階
TEL.03-3830-2006 FAX.03-3830-2007
ホームページ <http://www.j-league.or.jp>

Amazing, J.

スポーツで、もっと、幸せな国へ。 **Jリーグ百年構想**



2004 Jリーグ開幕

Amazing, J. 各地で熱戦の火蓋が切って落とされた

2004Jリーグ・ディビジョン1の1stステージが3月13日、一斉に開幕した。各地で8試合を行い、20万人を超えるファン・サポーターが詰めかけた。今季はアルビレックス新潟がJ1に昇格し、サンフレッチェ広島も1年で復帰した。また、2002年FIFAワールドカップ™で注目されたトルコ代表のイルハンがヴィッセル神戸に加入するなど話題も多い。

さらに今季はアテネオリンピックや2006年FIFAワールドカップ・ドイツ大会のアジア1次予選が平行して行われ、チームによってはメンバー構成に苦労しそう。それだけに、戦力がきつ抗した熱戦が期待できそうだ。

また同じ3月13日にディビジョン2も開幕、11月末まで長期戦に挑む。

CONTENTS

2004Jリーグ開幕.....1-3
「2004 JOMOオールスターサッカー」7月3日キックオフ.....3
U-23、アテネオリンピック出場決める.....3
2004Jリーグヤマザキナビスコカップ開幕.....4
Jリーグ百年構想の鼓動 四国初のJクラブを目指す徳島の動き.....5
TOPICS Jリーグ百年構想サッカー教室を開催／第4回Jリーグ百年構想イ

メージイラスト優秀作品賞決定／「キャノンカップジュニアサッカー2004」を後援／清水エスパルスの実行委員交代／Jリーグ・アカデミー育成センターに浦和レッズ、清水エスパルス、京都パープルサンガを認定.....6
子供たちを育てる芝生の校庭.....7
VOICE J1&J2の関西ダブル優勝を 尾崎ルミ.....8

J.League Official Sponsors

Calbee

Canon

SUNTORY

JOMO

Nicos

LAWSON

KONAMI

Network Partner

NTT 東日本 / NTT 西日本

League Cup Sponsor

ヤマザキナビスコ

Jリーグ百年構想
パートナー

朝日新聞



© J.LEAGUE PHOTOS



© J.LEAGUE PHOTOS



© J.LEAGUE PHOTOS



© J.LEAGUE PHOTOS

早くも波乱の展開へ 混戦予想のJ1リーグ

昨年11月に終わった2003シーズンから4カ月、待ちわびた多くのファン・サポーターがスタンドを埋め、J1の1stステージは波乱含みの展開で始まった。

中でも昨季1st、2ndの両ステージを制した横浜F・マリノスとJリーグヤマザキナビスコカップ覇者の浦和レッズ戦には51,052人の大観衆が集まり、両チームの対戦に酔った。横浜FMは前半、清水エスパルスから移籍した安貞桓が左から回り込んで先制点。しかし後半に入ると浦和もエメルソンが巧みな足技から同点ゴールをけり込んで引き分けに持ち込んだ。横浜FMはアテネオリンピック予選やFIFAワールドカップアジア1次予選で中軸選手が抜かれ、さらにAFCチャンピオンズリーグ、A3 NISSAN チャンピオンズカップなど開幕前の連戦でコンディションに不安も残ったままの開幕だったが、何とか第1節は引き分けた。だが第2節のジェフ

ユナイテッド市原戦ではいいところがなく、0-3で完敗。早くも連覇に向けて黄信号がついた。

一方、浦和は清水から加入した三都主が攻撃にうまく絡み、俊足エメルソンも好調で、第2節のセレッソ大阪戦では4-2で快勝、初のチャンピオンシップ獲得に意欲的だ。

2004ゼロックススーパーカップで横浜FMを下したジュビロ磐田は、好手の藤田俊哉がオランダ・ユトレヒトから復帰。故障していたFW中山雅史も戻ってきて戦力アップ。開幕戦では東京ヴェルディ1969を2-0で下し、さらに第2節の名古屋グランパスエイト戦でもグラウの活躍から3-1で勝って2連勝、好スタートを切った。

今季10冠目のタイトルを目指す鹿島アントラーズも相変わらずのしぶとさを発揮。開幕戦のガンバ大阪戦では後半のロスタイムにG大阪から移籍の新井場徹の同点ゴールで

引き分けに持ち込み、第2節の清水戦では深井正樹、本山雅志の2得点で逆転勝ち。地力を見せつけた。

名古屋も大型補強で注目のチーム。DFでは鹿島から秋田豊、京都パープルサンガから角田誠、MFではベガルタ仙台から岩本輝雄を加え、昨季の得点王ウェズレイが健在で、勢いに乗れば侮れない。

このほか名将オシム監督率いる市原、若手の成長著しい柏レイソルやイルハンが加入してムードも変わるヴィッセル神戸なども面白い存在といえる。

初のJ1昇格のアルビレックス新潟は、熱狂的な地元サポーターに支えられ、「地元で負けない」本領を発揮してもらいたい。サンフレッチェ広島も派手さこそないが、上位争いに加わる力は十分ある。

15歳10カ月のJリーグ史上最年少デビューを果たした東京Vの森本貴幸や筑波大へ進学し、特別指定選手でJリーグへの出場が期待される平山相太など、今季のJリーグは目が離せない。

川崎Fが好スタート J2リーグ

来季J1のチームが2チーム増えることから、ディビジョン2は1、2位が自動昇格し、3位のチームがJ1の16位と入れ替え戦を争う。新たな展開での開幕は、スタートから予断を許さない様相となった。

J1から降格した京都パープルサンガ、ベガルタ仙台が不調で、昨季わずかなところでJ1昇格を逃した川崎フロンターレが好発進した。

京都は日本代表やU-23日本代表で選手が抜かれたが、第2節からはFW黒部光昭らが調子を戻してきた。だが仙台はDF陣が総

崩れ。開幕戦で横浜FCに0-4で、第2節の京都戦でも0-5と大敗。中心選手がJ1に抜かれた影響がまともに出てきている。

これに対して川崎Fは開幕戦のサガン鳥栖戦で先手を取られたが、あっという間に3得点して逆転勝ち。さらに第2節のヴァンフォーレ甲府戦でも2-1で競り勝って、昨季スタートダッシュに失敗した教訓を生かして、2000年シーズン以来のJ1復帰に燃えている。

このほかコンサドーレ札幌、湘南ベルマーレ、アビスパ福岡のかつてのJ1組も地元の期待を担って新たなシーズンを迎えた。



© J.LEAGUE PHOTOS

「2004 JOMOオールスターサッカー」 7月3日キックオフ

Jリーグは(株)ジャパンエナジーの特別協賛のもと、7月3日(土)18時、新潟スタジアム(ビッグスワン)で「2004 JOMOオールスターサッカー」を開催する。例年通り、J1の16クラブを東西に分けたJ-EASTとJ-WESTが対戦する。JOMOオールスターサッカー特設サイトと携帯電話による選考投票は既に開始しており、投票はがき、官製・私製はがき、FAXによる投票は4月24日からスタート。サイト、はがきともに6月5日(土)まで受け付けている。入場券は5月下旬より発売開始予定。

- 開催日時 2004年7月3日(土) 18:00キックオフ
- 開催場所 新潟スタジアム(ビッグスワン)
- 対戦カード J-EAST vs J-WEST
- チーム編成
J-EAST: 鹿島、浦和、市原、柏、F東京、東京V、横浜FM、新潟
J-WEST: 清水、磐田、名古屋、G大阪、C大阪、神戸、広島、大分
- 試合方式 90分間(45分ハーフ)の試合を行い、同点の場合は引き分け

■サポーター投票

3月24日～6月5日

- インターネット(1日5票): JOMOオールスターサッカー特設サイト
<http://www.jomostar.net>
- 携帯電話(1日5票): J's GOALからの投票(全キャリア対応)
(iモード)iMenu→メニューリスト→スポーツ→野球/サッカー→J'sゴール(Vodafone live!)トップメニュー→メニューリスト→スポーツ→サッカー→J'sゴール(EZweb)トップメニュー→遊ぶ・楽しむ→スポーツ→J'sゴール
- 特別投票サイトからの投票(iモードのみ): <http://www.JOMO2004.com>

4月24日～6月5日

- 公式サポーターはがき(マークシート方式)
J1リーグ戦・ヤマザキナビスコカップ開催競技場、JOMOステーション(一部店舗除く)、フラッグスタウン、ミズノ品取り扱い店に設置。J1開催競技場の投票箱か郵送での受付となる。

※官製・私製はがき(手書きのみ有効)のあて先、FAX番号は4月下旬に発表

■お問い合わせ先 <http://www.jomostar.net>

U-23、アテネオリンピック出場決める

アジアサッカー最終予選2004において、U-23日本代表はバーレーン、アラブ首長国連邦(UAE)、レバノンを抑えてグループBの1位となり、アテネオリンピックへの出場権を獲得した。日本の男子サッカーのオリンピック出場は、1996年アトランタ大会、2000年シドニー大会に続く3大会連続、通算7回目。

山本昌邦監督率いるU-23日本代表は、3月1～5日のUAEラウンドを2勝1分(0-0バーレーン、4-0レバノン、2-0UAE)と首位で折り返した。だが、同14～18日の日本ラウンドは、初戦でバーレーンに0-1と敗れ、日本、

バーレーン、UAEの3チームが勝点7で並んだ。その後、得失点差に勝る日本は続くレバノン戦に2-1の勝利を収め、最終戦のUAE戦も大久保嘉人(セレッソ大阪)の2得点などで3-0と快勝。バーレーンがレバノンと引き分けたこともあり、グループBの1位が決定した。

重責を果たした山本監督は試合後の記者会見で「楽な試合はひとつもなかった」と語ったが、「Jリーグの中で選手がたくさん育てている。その選手層の厚さが、総合力としてこの6戦につながった」と、過酷な連戦を戦い抜く



© J.LEAGUE PHOTOS

ことができた要因を振り返った。

アテネオリンピック2004の男子サッカーは、8月11日にスタートし、同28日に決勝が行われる予定。

2004 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ開幕

2004 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ

J1の16チームが参加する「2004 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ」が3月27日に開幕した。

今シーズンの大会は、16チームを4グループに分け、各グループでホーム&アウェイ方式の総当たりリーグ戦を行い、グループの上

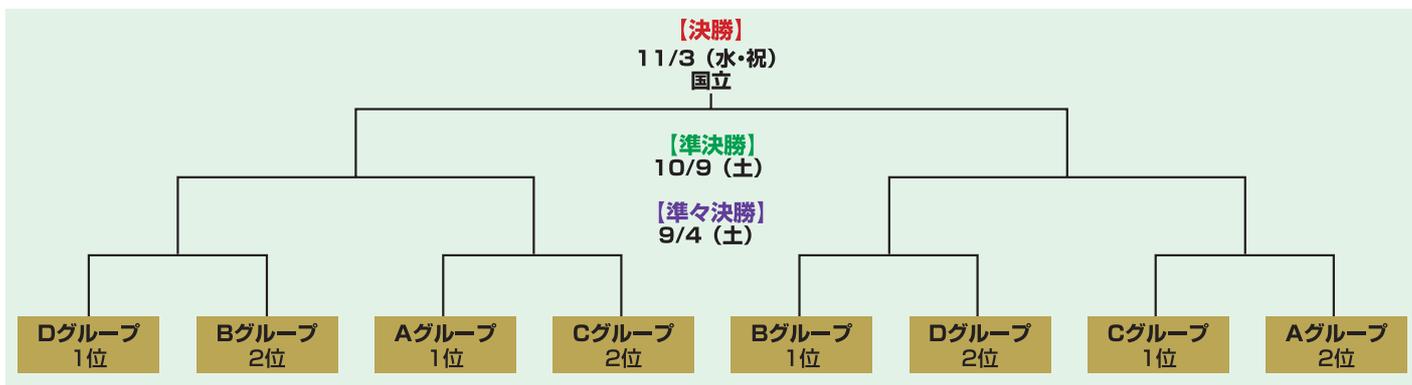
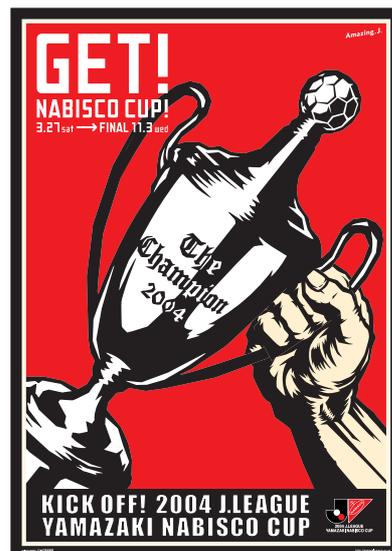
位2チームが1回戦制のノックアウト方式により決勝トーナメントを争う。予選リーグは3月27日(土)から7月24日(土)まで、決勝トーナメントは9月4日(土)からスタートし、決勝は11月3日(水・祝)、国立競技場で行われる。

●予選リーググループ分け

| | |
|--------|-----------------------|
| ◆Aグループ | 東京V / 横浜FM / C大阪 / 広島 |
| ◆Bグループ | 新潟 / 磐田 / 名古屋 / G大阪 |
| ◆Cグループ | 浦和 / 市原 / 清水 / 大分 |
| ◆Dグループ | 鹿島 / 柏 / F東京 / 神戸 |

●予選リーグ開催日

| | |
|------|------------|
| 第1節: | 3月27日(土) |
| 第2節: | 4月29日(木・祝) |
| 第3節: | 5月29日(土) |
| 第4節: | 6月5日(土) |
| 第5節: | 7月17日(土) |
| 第6節: | 7月24日(土) |



※対戦表の左側がホームチーム

クラブといっしょにコクリツを目指そう!!

予選リーグから準決勝までの
スペシャルイベントが、
夢の決勝・コクリツへと続いている

Jリーグは、「2004 Jリーグヤマザキナビスコカップ」の予選リーグから準決勝までの全試合会場で、小学生以下の子供を対象にしたスペシャルイベント『ナビスコキッズイレブン クラブといっしょにコクリツを目指そう!!』を開催する。

本企画は、決勝戦のスペシャルイベント『ナビスコキッズバトル』同様、昨年度の同大会の夏休み特別企画として決勝トーナメント準々決勝で実施し、好評を博したもの。今年度は大会の開幕から実施し、予選リーグ～準決勝までの全試合で、来場した子供たちにドリブルゲーム、シュートゲームにチャレンジしてもらい、ゲームに参加した子供たちの中から各クラブ11名の「ナビスコキッズイレブン」を選出する。応援するクラブが決勝進出を決めた場合、両チームのナビスコキッズイレブン計22人に決勝戦の観戦チケットがプレゼントされ、試合前のスペシャルイベント、『ナビスコキッズバトル』に参加する。

『ナビスコカップにガチャピン・ムックがやってくる! ファンサッカー&サッカーサイズ for KIDS』を開催

Jリーグは、3月27日に開幕したナビスコカップ予選リーグで、6歳以下の子供を対象にしたイベント『ナビスコカップにガチャピン・ムックがやってくる! ファンサッカー&サッカーサイズ for KIDS』を開催中。

本企画は大会中継局のフジテレビとのコラボレーションで、キックオフ前のスタジアムでサッカーゲームやミニサッカーなどのアトラクションを子供たち楽しんでもらおうというもの。3月27日、味の素スタジアムで行われたFC東京対鹿島アントラーズ戦には、同局の人気番組「ボンキーズ21」の人気キャラクター、ガチャピンとムックが登場。その後も各地のスタジアムを訪れる予定となっている。



地域・企業・自治体、それぞれの役割 — 四国初のJクラブを目指す徳島の動き

日本各地に息づく「Jリーグ百年構想」の実現に向けた動きを紹介するこのシリーズ。2回目となる今回は、四国初のJリーグクラブ誕生の期待が渦巻く徳島県を訪れた。県知事候補のマニフェストをきっかけに具体化した動きは、昨季の日本フットボールリーグ（JFL）で初優勝を飾った大塚製薬株式会社サッカー部を母体としたJリーグ参入に向けて、地域住民、企業、自治体がそれぞれの役割を果たしつつ、連携して前進している。

チーム名募集の段階に

「徳島県のチームをJリーグへ」という今回の動きは、昨年5月の県知事選がきっかけとなっている。マニフェストに「四国初のJリーグチームの実現」を盛り込んだ飯泉嘉門候補が当選。同年8月には、日本サッカー協会の川淵三郎キャプテンが飯泉知事の政策アドバイザーとなることが決まり、県庁内に「Jリーグ推進プロジェクトチーム」が立ち上げられるなど、本格的な活動がスタートした。

そして、今年1月30日には県民、地元有力企業、行政の合計21団体・個人からなる「とくしまJリーグ推進協議会」（会長：北島義貴トヨタカローラ徳島社長）が設立された。協議会内には、Jリーグのクラブを運営するための法人設立準備室（室長：美馬茂・県企画総務部参事）が置かれている。この準備室は、8月をめどとする運営法人の設立に向けて、諸準備に携わる。3月24日には協議会の第2回総会が行われ、チーム名募集要項なども決定した。

なお、実際にJリーグへ加盟するチームについては、JFLに所属している大塚製薬株式会社サッカー部（大塚FC）が母体となることを前提に準備が進行している。

県サッカー協会の取り組み

「とくしまJリーグ推進協議会」に名を連ねる杉原秀晴徳島県サッカー協会理事長は、準備室の広報・後援会部会のメンバーとして、この気運を盛り上げるための活動に奔走している。



る。チームが成功する上で、ファンのサポートは欠かせない要素。「ひいきのチームを応援するのは非常に面白い。県民の皆さんにそのあたりを分かっていたいただければ」（杉原理事長）ということから、県協会は、大塚FCへの集客作戦にも取り組む。

また、新たに生まれるチームには、法人100社、個人4000人を目標に後援会組織も誕生する予定。県協会は徳島県を35の地域に分け、各地域ごとの理事に加え、新たに地域理事を任命するなど、会員獲得に努める。「1地域で50人を集めることができれば、目標とする4000人の半数近くには達する」（杉原理事長）というわけだ。

杉原理事長はさらに、他の競技団体にも「これはスポーツ文化の振興。サッカーをきっかけに、県民のスポーツをまとめていけたら」という構想を訴え、協力への好感触を得ているという。

まずはチーム力の維持

徳島県において、チームをJリーグへ送り出そうという動きが生まれるのも、半世紀近い歴史を誇り、アマチュアサッカー界でトップクラスの実力を維持する大塚FCというチームの存在があるからだ。

「昨年10月、飯泉知事から会社に対してチーム譲渡を含めた申し入れがあり、大塚製薬としても前向きな検討を約束しました」と大塚FCの川合泰隆部長。

チームの今年の目標は、昨年続くJFL連覇、天皇杯におけるJクラブに対する勝利、そして地域への貢献という3つが柱となる。直接、Jリーグ入りを念頭に置いたものではない



© J.LEAGUE PHOTOS

が、「（今回の活動の）中心となるチームをしっかりとした組織として維持しておく」（川合部長）ことにつながるわけだ。

関連費用を予算に盛り込む

ところで、冒頭に「今回の動き」と書いたが、実は10年ほど前にもJリーグ入りを目指す動きはあった。1993年に23万の県民の署名を集めるなど盛り上がったが、諸般の理由により運営会社の設立には至らず、翌年9月に断念したという経緯がある。

だが、この1年あまりで新たな動きが加速した背景には、自治体である徳島県の積極的な姿勢がある。公約実現を目指す飯泉知事の下、川淵キャプテンらを招いたシンポジウムを開催したり、Jリーグクラブやホームタウンを視察・調査して「非常に詳細で、豊富な資料を作成する」（杉原理事長）など、熱意を傾けている。

2004年度予算にも、8月の設立を目指すチーム運営法人への出資（1億円）、ホームスタジアムに想定される県営鳴門陸上競技場の改修費（6億6000万円）などが盛り込まれている。大塚FCのホームゲーム15試合のうち、14試合が同競技場で開催されるのも、県側の配慮だ。

Jリーグの理想とする、地域住民、企業、行政の3者が手を携え、新たな組織作りに向けて進んでいる徳島県。四国における初のJクラブ誕生の期待がかかる、その動きに注目したい。取材・文：石川聡

大塚製薬株式会社サッカー部

チームが誕生したのは1955年。本格的な強化は1988年に始まった。その翌年には全国地域リーグ決勝大会で準優勝の成績を収め、日本サッカーリーグ（JSL）2部に昇格。1992年に新設されたジャパンフットボールリーグへ加入した。1995年から98年まで、大塚FCヴォルティス徳島と名乗ったが、1999年の日本フットボールリーグ創設を機に大塚製薬株式会社サッカー部の名称が復活した。昨季の第5回JFLでは初優勝を飾っている。

Jリーグ百年構想 サッカー教室を開催

Jリーグは3月10日、東京・杉並区立和泉小学校で第1回の「Jリーグ百年構想サッカー教室」を開催した。参加した児童は1年生から6年生までの男女合わせて約160人。講師を務めた元Jリーガーの井原正巳氏の来校を楽しみに訪れた保護者も多く、にぎやかで楽しいイベントとなった。

この日は、低学年、高学年に分かれてカリキュラムが組まれ、低学年にはJリーグアカデミーの遊具を使ったボール遊び(シュートゲーム、ワンツーパス、パスゲーム)を中心に実施

し、高学年にはサッカー指導などが施され、ゲームも行われた。芝生になってからよく校庭で遊ぶようになったという3年生の女子児童は「こういう機械(パスゲーム)を使ってするのは初めてで、すごく楽しい」と話していた。

同教室終了後、井原氏は「芝生は運動嫌いな子供でも外に出て遊びたくなる。子供た



「井原さんはどんな小学生でしたか」と質問する野崎佳子校長

ちには元気に外で遊んでほしい。芝生の学校が増えて、僕らJリーガーが足を運ぶ機会も増えるといい」とインタビューに答えていた。

サッカー教室終了後には、Jリーグ百年構想パートナーの朝日新聞社の協力で、参加児童らに号外とグッズなどが配られた。



© J.LEAGUE PHOTOS

第4回Jリーグ百年構想 イメージイラスト、 優秀作品賞決定!

Jリーグは3月9日、「第4回Jリーグ百年構想イメージイラスト」の選考委員会を開催し、優秀賞ならびに特別賞を発表した。

トップ部門の優秀賞には高岡寿江さん(25歳)、U-18部門は種田ちひろさん(17歳)、U-12部門は葎谷直生くん(7歳)、また特別賞には片

山茂樹さん(31歳)の作品が選ばれた。

第4回のテーマは「2004年Jリーグ開幕」。トップ部門が145作品、U-18に34作品、U-12に33作品、合計212作品と、多数のイラストが寄せられた。

受賞作品はアドカードになり、4月1日から全国の駅構内、CDショップ、カフェなどに設置される。また、全作品は、Jリーグホームページ(<http://www.j-league.or.jp>)に掲載、そのほかさまざまな機会で開催する予定。

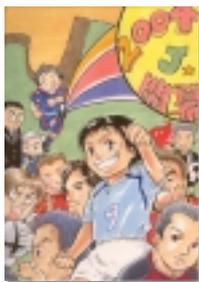
Jリーグ・アカデミー育成 センターに浦和レッズ、 清水エスパルス、 京都パープルサンガを認定

Jリーグは2004年より、新たに浦和レッズ、清水エスパルス、京都パープルサンガの3クラブを育成センターとして認定した。

認定にあたっては①育成センターの資格基準を満たしているか②2004~2006年度までの明確な活動計画を立案しているか、の2つの観点から現地視察と書類審査を実施した。これにより、Jリーグ・アカデミー育成センターは、2002年に認定された鹿島、F東京、横浜FM、磐田、名古屋、G大阪、広島、2003年認定のC大阪とあわせ、全11クラブとなる。

<審査内容>

- 育成方針がJFAの『ユース育成憲章』~ Players First~に沿ったものになっているか
- 5~21歳までの年齢に応じた普及・育成・強化活動を行っているか
- スタッフが必要数確保されているか
- コーチ数は選手数に見合っているか
- メディカル体制は充実しているか
- トレーニング施設は十分か
- 都道府県、市町村FAとの関係は良好か
- 地域の指導者との関係は良好か
- 学校・保護者とのコミュニケーションはとれているか
- 活動計画は適切か



トップ部門
高岡寿江(たかおか・ひさえ)さん
(25歳・女)東京都中央区



U-18部門
種田ちひろ(おいだ・ちひろ)さん
(17歳・女)神奈川県大和市



U-12部門
葎谷直生(よしだに・なおき)くん
(7歳・男)大阪府大阪市



特別賞
片山茂樹(かたやま・しげき)さん
(31歳・男)埼玉県さいたま市

「キャノンカップ ジュニアサッカー2004」を後援

Jリーグは、キャノンカップジュニアサッカー実行委員会が主催する「キャノンカップジュニアサッカー2004」を後援する。この大会は、少年・少女のサッカー普及・育成および国際交流・国際親善を目的に開催されるもので、予選大会を2004年5~6月の期間、東京、名古屋、神戸、大分で、決勝大会を6月に栃木で開催、海外遠征は、7月にアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで実施される。参加チームは240チーム(予定)、特別協賛はキャノン株式会社。

清水エスパルスの 実行委員交代

Jリーグは3月16日に開催した理事会で、清水エスパルスの実行委員が安本文彦氏(代表取締役相談役)から早川巖氏(代表取締役社長)に変更することを承認した。なお、安本文氏は退任に伴い、参与に選任された。

Jリーグ百年構想レポート

子供たちを育てる芝生の校庭 和泉小学校を訪ねて

Jリーグ広報部 藤ノ木 恵

「一番うれしかったことは、車椅子と歩行器を使ってしか歩かなかった児童が、芝生に生まれ変わった校庭を見たたん、一生懸命自分の脚で歩いたことです」。2年前、東京で初めて校庭を芝生にした杉並区立和泉小学校を訪れたとき、野崎佳子校長が私に話してくれたエピソードだ。あれから2年、和泉小の子供たちは元気にすくすくと育っている。

3月10日、「第1回Jリーグ百年構想サッカー教室」が和泉小学校で開催され、2年ぶりに同校を訪れた。最初の2年は管理が難しいという芝生も、2年前と変わりなく校庭一面を覆っていた。

せっかく植えた芝生を、維持できず土のグラウンドに戻してしまうというケースもあるなか、和泉小は、学校職員、PTA、地域の人々で構成するプロジェクト委員会が発足し、芝生管理が無理なく日常的に行われている。野崎校長の方針で、強制的な協力は募らない。「思いがある者が参加する」ということを基本に、みんなが楽しく利用できるよう、芝生を大切に育てているのだ。3月のPTA総会では、全員がプロジェクトのメンバーになることが決まったようだ。一方、グラウンドを使うのは同校の児童だけではない。近隣のスポーツ愛好家もこのグラウンドを利用する。学校と児童、PTA、地域の理想的な関係に、野崎校長は「夢のよう



© J.LEAGUE PHOTOS



© J.LEAGUE PHOTOS

なことが現実になり、子供たちが元気に育っている」と、満ち足りた笑みをたたえる。

週1回、毎回15～

16人が集まり、粒肥料の撒布や種まきなど、自分たちでできることは自分たちです。上田譲二教頭は「はじめのころは1時間もかかった作業が、今では30分でできるようになったんですよ」と胸を張る。また、昨年度から芝生の管理を教育課程に入れて、児童たちも積極的にかかわっているようだ。1年生には難しいこともあるので6年生と組む。2年生は5年生と、3年生は4年生と、それぞれグループをつくって手入れをする。子供たちはどんなおしゃべりをしながら芝生を育てているのだろう。

芝生の効能は数々挙げられる。土ぼこりを抑える、温度の上昇を防ぐ、適度な湿度で風邪をひきにくくさせる等、子供たちの健康にも有効だ。何より、「外で遊ぶのが好き」という元気な子供が増えるのはうれしいこと。このサッカー教室で遊具を使うパスゲームに初めて挑戦した3年生の女子児童は「1年生の時は芝生じゃなかったけど、芝生にしてから、前より外で遊ぶようになりました」と、はにかみながらも楽しそうに話してくれた。

ここ数年、子供の運動不足、体力の低下が叫ばれて久しい。和泉小から芝生の上でできるカリキュラムを依頼された東京学芸大学の池田延行教授は「最近では水泳教室やテニスなど競技種目から入るのが特徴的で、川遊びや木登りなどいろいろな遊びをして



© J.LEAGUE PHOTOS

いた昔と異なり、全体的なバランス感覚に欠ける子供が大勢いる」と指摘する。私も先日Jリーグ・アカデミーが行った足底圧測定で、足の指でしっかりと地面を踏みしめている子供が少ない実態を目の当たりにしたばかり。子供たちが外で遊ぶ機会をもっと増やさなければならない。

和泉小しかり、芝生の学校に行くと、校庭のふちに可愛い運動靴が揃えられ、素足で遊ぶ子供たちを目にする。芝生は、はだして走ったり、でんぐり返し、側転をしたりと、いろいろな運動や動きを可能にするため、現代に生きる子供たちの遊び場としてはこの上なく理想的といえる。

サッカー教室でボールを追いかける児童を見ながら、池田教授が言った。「僕らの子供のころは、よく川原で遊んで、「川ガキ」なんて言われましたけどね(笑)。これからは、「芝生ガキ」なんて言われる子供が増えるといいね」。

勉強ができるのは丈夫な体があつてのこと。特に成長期の12歳までの子供は、たくさん遊び、友達をつくり、心身ともに健康的な生活を送らなければならない。それを保護者に啓蒙することも重要なことだ。

「しっかりした大人になるためにスポーツは必要だということを、Jリーグ百年構想でしっかりPRして下さい」と池田教授に言われ、あらためてJリーグ百年構想の重みを実感し、和泉小を後にした。

J1 & J2の関西ダブル優勝を 関西サッカー界飛躍の年となるか

フリーランスライター ◎ 尾崎ルミ (おざき るみ)

新会社への営業譲渡やトルコ代表FWイルハン獲得など、今季開幕前に話題を集めたヴィッセル神戸。その“新生神戸”は、今季のJリーグ開幕のジェフユナイテッド市原戦で29,835人の観客を集めた。試合は市原に先制を許したものの、2-1で逆転勝利。満員の観客の前での逆転勝利は、新生神戸のスタートとしては申し分ないものだった。「観客が多いのは励みになるし、イルハンで注目されている間に勝ち続けたい」と北本久仁衛が話していたが、約3万の観客に「また来たい」と思わせる試合であったと思う。昨季までJ1残留争いで注目されることが多かった神戸だが、今季は、観客のパワーも武器に上位争いに名を連ねてもらいたい。

一方、昨年はホームゲームの入場者数が1試合平均10,222人と、J1の16チーム中15位と振るわなかったガンバ大阪も、関西で唯一のJリーグ発足当初から参画したチームとして、神戸の後塵を拝してはられない。昨年の集客数を謙虚に受けとめ、「地域に根差したクラブ作りをしていきたい」(佐野泉社長)と、サッカー教室の展開などで地域との取り組みをさらに強固にし、集客力にもつなげようとしている。昨季は年間総合10位と不本意な結果に終わったが、「今年は飛躍したガンバをお見せできると思う」と就任

3年目を迎えた西野朗監督のもと、念願の初タイトルに向かってまい進する。

「Be ONE! いちがんで、いちばんに。」をスローガンに、初タイトルを目指すセレッソ大阪。公式戦3試合で監督交代となったがシーズンはまだこれから。3月に行なわれたアテネオリンピック最終予選で活躍した大久保嘉人も注目したい。UAEラウンドのメンバーから漏れたときには、「まだ先は長いから、がんばるしかない」と語っていたが、日本ラウンドでは、その悔しさを晴らすかのように3得点を挙げ、アテネ出場に大いに貢献した。シーズンでも、その活躍を見せ、念願の初タイトルをC大阪に呼び込んでほしい。

今季はJ2での戦いとなった京都パープルサンガは、黒部光昭、松井大輔、手島和希ら主力選手のほとんどが残留。市原から崔龍洙を

獲得するなど、1年でのJ1復帰に向け、万全の体制で今季を迎えた。崔、黒部の2トップを軸に、02年度にC大阪がたたき出した、総得点93点のJ2得点記録を破ってのJ1復帰にも期待が高まる。

Jリーグ発足以来、関西チームのタイトルは、02年度の京都の天皇杯優勝と01年度のJ2優勝のみだが、94年から始まったJリーグユース選手権では、過去11回の大会で、G大阪ユース3回、京都ユース、神戸ユースが各1回と関西勢の優勝が5回。大学サッカーでも、阪南大学(大阪)が、01年に総理大臣杯のタイトルを獲得するなど、関西のサッカー界も気を吐いている。

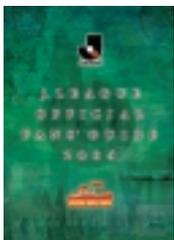
だが、やはり関西サッカー界の先陣を切るのは、Jリーグ4チームであってほしい。関西のさらなる飛躍のためにも、今季はぜひとも「J1 & J2のダブル優勝」を期待したい。神戸が開幕戦に3万人を集めたように、“何か”があれば、観客の集まる下地は関西にある。その“何か”は、チームが魅力あるサッカーをし、勝利の喜びをもたらすことが一番だろう。12年目のJリーグ。そろそろ関西で、サントリーチャンピオンシップが開催されてもいいころだ。いや、完全制覇でチャンピオンシップなしならなおよし、だが。

PROFILE

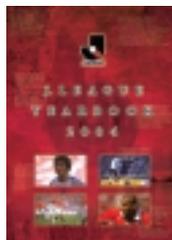


1994年からフリーランスのライターとして取材活動を開始。関西を拠点に、Jリーグ、各年代の日本代表、大学、ユース年代、女子審判員など、サッカー全般を幅広く取材。主にサッカー専門誌や、ガンバ大阪ファンクラブ会報「GAZZETTA」等で、選手のインタビュー記事や観戦記事等を執筆中。大阪府出身。

『J.LEAGUE OFFICIAL FANS' GUIDE 2004』『J.LEAGUE YEARBOOK 2004』発行



- 『J.LEAGUE OFFICIAL FANS' GUIDE 2004』
J1、J2、全28クラブのオールカラー公式ガイド。
240ページ、A5判並製
定価：1,000円(本体952円)



- 『J.LEAGUE YEARBOOK 2004』
Jの歴史を凝縮！2003シーズンまでの全記録を網羅。448ページ、A5判並製
定価：2,000円(本体1,905円)

発行：(社)日本プロサッカーリーグ
発売：(株)コナミメディアエンタテインメント
問い合わせ先：
コナミメディアエンタテインメント・ブックセンター
(受付時間：10:00～16:00土日祝祭日除く)
TEL：03-5458-6436 FAX：03-5458-6432

〈お詫びと訂正〉
左記2誌の最終ページ(奥付)に記載している(社)日本プロサッカーリーグの連絡先に誤りがありました。お詫びして、訂正します。
(社)日本プロサッカーリーグ FAX:03-3830-1910



写真提供：◎ J.LEAGUE PHOTOS



「Jリーグニュース」は100%再生紙を使用しています。